

北極海 Knipovich 海嶺における熱流量測定

Heat flow measurement in the Knipovich Ridge

木下 正高[1], # 後藤 秀作[2], 玉木 賢策[3], K2K 乗船研究者一同 玉木 賢策

Masataka Kinoshita[1], # Shusaku Goto[2], Kensaku Tamaki[3], K2K onboard scientific team Kensaku Tamaki

[1] 東海大海洋, [2] 東海大・海洋, [3] 東大・海洋研

[1] Sch. Mar. Sci. Tech., Tokai Univ., [2] Tokai Univ., [3] ORI, Univ of Tokyo

2000年9月に、北極海 Knipovich 海嶺において、ロシアの研究船 Loachev 号による地球科学的総合観測航海が実施された。著者らは本航海に乗船して、ノルウェー・米国の研究者と共に熱流量測定を実施した。海嶺軸付近では9点でデータが得られた。中軸谷付近で低い熱流量が見られたものの、今回の結果と以前に得られたデータを合わせて検討すると、この海嶺が斜め拡大をしている効果を考慮すれば、熱流量は中軸からの距離に対して対称的に減少していくことが判明した。